

霞ヶ浦とは？

霞ヶ浦は、茨城県の南東部にあり、霞ヶ浦(西浦)・北浦・常陸利根川の3つの水域から成り立っています。面積は滋賀県にある琵琶湖に次いで2番目で、水深は平均4m、最大7mと広くて浅い湖です。霞ヶ浦には桜川をはじめ56河川が流れ込み、その流域には約92万5千人(令和5年度末現在)が暮らしています。

湖沼の成因	海跡湖
最大水深	7m
平均水深	4m
湖面積	220km ²
堤防延長	250km
湖容積	8.5億m ³
湖沼型	富栄養湖・淡水
利水状況	水道・工業・農業・水産

霞ヶ浦の水質・・・

霞ヶ浦の水質は、昭和30年代ごろは比較的清いでしたが、昭和40年代後半から流域における人口増加や生活様式の多様化、産業活動の進展などに伴い、水質の汚濁が進行しました。

そこで、茨城県では、霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画を策定し、下水道の整備や高度処理型浄化槽の設置推進など、様々な水質浄化への取り組みを行っています。

9月1日は「霞ヶ浦の日」

「霞ヶ浦の富栄養化の防止に関する条例」(平成19年度に霞ヶ浦水質保全条例に改正)の施行1周年を記念し、条例の施行日である9月1日を「霞ヶ浦の日」と決めました。

茨城県では、7月第3月曜日の「海の日」から「霞ヶ浦の日」までを「霞ヶ浦水質浄化強調月間」と定め、流域市町村や市民団体と協力し、流域住民の浄化意識の高揚と浄化活動の促進を図る取り組みを行っています。

今、私たちにできること・・・

霞ヶ浦の水質汚濁の大きな原因の一つは、家庭からの生活排水です。みんなで次のことを守り、水質浄化に努めましょう！

- 1 台所では目の細かいストレーナーまたは三角コーナーの設置や水切りネットなどで細かいごみを取り除きましょう。
- 2 天ぷらなどの廃油はリサイクルの一環として回収を推進しましょう。また回収が困難な場合は、使い切るか、新聞紙などにしみませたり、固化材で固めたりしてごみとして出しましょう。
- 3 なべや皿の汚れはゴムベラで落としたり紙でふいてから適量の洗剤で洗いましょ。
- 4 台所の調理くすは、コンポストなどで堆肥にして使いましょ。
- 5 お風呂の残り湯は有効に使いましょ。
- 6 水路や側溝などを定期的に清掃しましょ。
- 7 川や湖や側溝に、ごみを捨てないようにしましょ。
- 8 庭木や草花、菜園などへの肥料や農薬は、使いすぎないようにしましょ。
- 9 下水道などへの接続や高度処理型浄化槽を設置しましょ。
- 10 浄化槽は保守点検・清掃を実施し、法定検査を受検しましょ。

利用できる施設

利用施設	利用時間	定員	利用案内
展示室	10:00～16:30 (入室は16:00まで)	—	見学自由(無料)、ガイド案内可(無料・予約制 ※1)
小展示室	10:00～16:30 (入室は16:00まで)	—	予約制 ※1(無料)
交流サロン	9:00～17:00	—	利用自由(無料)
文献資料室	9:00～17:00	—	利用自由(無料)
会議室A・B	9:30～17:00 ※3	各20人	予約制 ※1(無料)
多目的ホール	9:30～17:00 ※3	200人	予約制 ※1(有料)※2
研修室	9:30～17:00 ※3	50人	予約制 ※1(有料)※2

※1 予約制の施設については、利用日の3か月前の月の初日から予約可能です。電話でお問合せください。(TEL 029-828-0960)

※2 有料施設の料金については、HPをご覧ください。(右のQRコードよりご覧いただけます)

※3 9:30以前及び17:00以降の利用については、ご相談ください。



有料施設の料金表

休館日 毎週月曜日(祝祭日の場合は翌日) 年末年始(12月29日～翌年1月1日)

サポーターに加入していろいろな活動に参加しよう！

○センターイベントなどの情報をいち早く入手できます。
○文献資料室の図書を借りることができます。

※サポーターの登録は無料です。

身分証明書をお持ちのうえ、文献資料室カウンターで登録を行ってください。

シンボルマーク



きれいな湖の波紋に魚が集まるようなイメージ。波紋と魚を一体とし、霞ヶ浦の頭文字「K」も兼ねています。

キャラクター



びゅあちゃん
「朝陽を浴びてキラキラ輝く緑葉についた水滴」をイメージ。大自然の小さな精霊です。

センターのパートナー活動に参加してみませんか？

センター運営にご協力いただける県民ボランティアを広く募集しております。

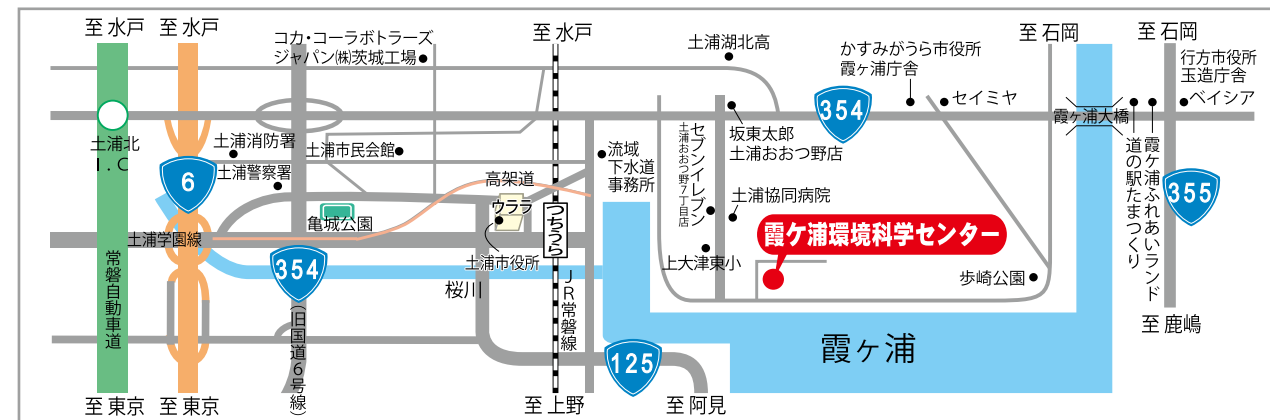
市民活動に使用する機材の貸出をしています

機材を利用できる方
○環境保全活動を行う法人・団体
○教育機関及び行政機関
○市町村

※個人での利用はできません。
※貸出期間は原則1週間です。

【貸出機材・パートナーに関するお問合せ】

茨城県霞ヶ浦環境科学センター 環境活動推進課
TEL 029-828-0961



交通(図参照)
・常磐自動車道土浦北インターチェンジから約20分
・土浦駅東口から車で約15分
・霞ヶ浦大橋から車で約25分
・土浦駅からバス「土浦協同病院」行き乗車約25分、「土浦協同病院」バス停下車後、徒歩約25分

茨城県霞ヶ浦環境科学センター
Ibaraki Kasumigaura Environmental Science Center

〒300-0023

茨城県土浦市沖宿町1853番地

TEL 029-828-0960(代)

FAX 029-828-0967



ホームページ



インスタグラム



エックス



フェイスブック



茨城県霞ヶ浦環境科学センター
Ibaraki Kasumigaura Environmental Science Center

センターの役割

霞ヶ浦環境科学センターは、平成7年10月につくば市・土浦市で開催された第6回世界湖沼会議において設置が提唱され、平成17年4月に開館しました。

霞ヶ浦をはじめとする県内の湖沼、河川の水環境や大気環境などの保全に取り組むため、「調査研究・技術開発」、「環境学習」、「市民活動との連携・支援」、「情報・交流」の4つの機能を、市民、研究者、企業及び行政の4者のパートナーシップのもと、効果的に発揮できる運営を目指しています。今後とも、水環境保全に対する取り組みを行う総合的な拠点施設としての役割を担ってまいります。

センターの4つの機能



調査研究・技術開発

県内の湖沼・河川の水環境や大気環境などの保全のための調査研究・技術開発を行います

- 霞ヶ浦など県内湖沼や河川の水質変動要因、汚濁負荷削減などに関する調査研究・技術開発
- 大気中の有害物質に関する調査研究・実態把握調査
- 航空機騒音、地下水、土壌などの調査

- 環境保全に取り組み市民が交流し合うための場である交流サロンの提供

- 環境学習の補助や環境保全イベントのスタッフなど、センター事業に参画するパートナー(ボランティア)活動

- 環境保全活動や環境学習等の市民活動に必要な機材の無料貸出

- 環境保全活動を行う市民団体への支援



活動の場を提供するとともに、専門家、各機関とのネットワークを構築し支援を行います
市民活動との連携・支援

環境学習

「学び」「考え」「行動」できる体験型学習の機会や場を提供します

- 展示室などの環境学習のための施設
展示室：霞ヶ浦に関して歴史・地理・文化・生物・水質など様々な視点で学ぶ
研修室：観察や実験、実習など
屋外広場：いきもののにわで生き物や生態系の観察

- 環境学習の実施
・講師による指導
・小中高校クラス単位の学習
・体験型環境学習イベント
・出前講座
・指導者養成講座
・環境学習成果発表会

- ホームページ、SNS等による情報発信
- 文献資料室における図書の閲覧、貸出
- 市民、研究者、企業、行政による交流会やシンポジウムの開催

霞ヶ浦等に関する様々な情報を収集し、発信します

情報・交流



